

わたし いちにち だいがくせい 私の1日 (大学生)

URL : <https://youtu.be/93bQYJ3My9o>

こんかい わたし いちにち だいがくせい まな にほんご べんきょう
今回は「私の1日 (大学生)」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があり
ます。
こうはん すこ はや かんじ
後半は少しだけ速く (+ 20 %) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
がくしゅう やくだ
学習にお役立てください。

じこ しょうかい ■自己紹介

わたし なまえ おがわ ゆい にいがたけん す けんない こくりつだいがく かよ
私の名前は小川由衣です。新潟県に住んでいて、県内の国立大学に通っています。
だいがく にほんご にほん ぶんか まな
大学では日本語や日本の文化について学んでいます。

じっか だいがく でんしゃ つか つうがく はんとしまえ だいがく
実家から大学まで、バスと電車を使って通学していましたが、半年前に大学の
ちか か ひとりぐ はじ
近くのアパートを借りて、一人暮らしを始めました。

にいがた しぜん おお くうき はる なつ た みどり
新潟は自然が多く、空気がきれいなところです。春や夏は田んぼの緑がとても
うつく ふう ゆき ふ わたし いえ まわ き おお あさ とり
美しく、冬にはたくさんの雪が降ります。私の家の周りには木が多く、朝は鳥
こえ め さ とかい ひと おお
の声で目が覚めることもあります。都会のように人が多くありませんが、その
しず おお つ せいかつ たの
ぶん静かで落ち着いた生活ができます。

だいがく しょうにんずう せんせい きより ちか わ
大学のクラスは少人数で、先生との距離も近いです。分からないことがあっても、
きがる しつもん わたし むかし ほん よ す にほん ぶんがく
気軽に質問できます。私は昔から本を読むのが好きだったので、日本文学
まな いま せいかつ たの
を学ぶ今の生活はとても楽しいです。

きょう わたし いちにち しょうかい ちほう だいがくせい まいにち
今日は、そんな私の一日を紹介します。地方の大学生としてどのように毎日を
す はな なにげ まいにち なか かん
過ごしているかをお話しします。何気ない毎日ですが、その中で感じたことや
せいちょう
成長できたこともたくさんあります。

わたし いちにち とお にほん だいがくせいかつ すこ し うれ
私の一日を通して、日本の大学生活を少しでも知ってもらえたら嬉しいです。

■朝の時間

私は大学の近くで一人暮らしをしています。実家は同じ県内にありますが、通学に時間がかかるため、半年前から一人暮らしを始めました。朝の電車が少なく、通学がとても不便だったからです。

アパートは古いですが、日当たりがよく、まわりも静かです。家賃も高くないので、とても助かっています。一人暮らしには不安もありましたが、今ではこの生活にも慣れてきました。

朝はだいたい7時に起きます。目覚まし時計の音で目が覚めますが、冬は寒くて布団から出るのに時間がかかります。暖房をつけてから、ゆっくり動き出すようにしています。

朝ごはんは、簡単にすませることが多いです。ごはんとインスタントの味噌汁、冷凍のおかずなどを組み合わせて、できるだけ栄養をとるように気をつけています。時間がないときは、パンとコーヒーだけで終わる日もあります。

ひとりで食事をするときは、テレビや音楽を流しながらすごします。誰とも話さない朝は少しさびしく感じることもありますが、自分のペースで動けるのは楽です。

窓を開けると、鳥の声や風の音が聞こえてきます。都会のように車の音や人の声はあまりしません。自然の音がよく聞こえる、静かな朝の時間が私は好きです。

■朝の通学時間

私のアパートから大学までは、歩いて15分ほどです。自転車でも行けませんが、冬の朝は道が凍結してすべりやすいので、転ばないように気をつけて歩いています。

通学路には、大きな木や川があります。季節ごとに風景が変わるので、歩いているだけで気分が少し明るくなります。

春は桜、秋は赤や黄色の葉っぱがとてもきれいです。歩きながら深呼吸をして、今日も頑張ろうと思える時間です。

この町の朝は静かです。すれ違う人も少なく、車の音もあまり聞こえません。
私は通学中によく音楽を聴きます。

好きな曲を聴いていると、気持ちが落ち着きます。ときどき、授業のことや将来のことを考えながら歩くこともあります。

私の住んでいる地域はバスや電車の本数が少なく、時間が合わないとても不便です。実家から通っていたころは、朝早く起きなければならず、電車が止まると授業に遅れることもありました。その経験があって、一人暮らしを始めました。

今は大学に近い場所で暮らしているので、時間にも気持ちにも少し余裕があります。朝の静かな通学の時間は、自分と向き合える大切なひとときです。

■ 大学の授業

私が通っている大学は、地方の国立大学です。学生数はあまり多くなく、教室の雰囲気はとても落ち着いています。先生との距離が近く、分からないことがあれば気軽に質問できます。

私が学んでいるのは日本文学です。授業では古い小説を読んだり、文章の意味を考えたりします。とくに明治時代の作家に興味があり、図書館で関連の本を探して読むこともあります。読むのは時間がかかりますが、少しずつ理解できるようになるのが楽しいです。

講義の時間は90分です。内容はやや難しいですが、先生の説明がわかりやすく、学生が発言する機会もあります。静かな教室で、集中して話を聞くのが好きです。友達とは同じ授業を取っていないことも多く、教室では一人での時間がほとんどです。

お昼の時間も、一人で食べることがよくあります。学食は広くてにぎやかですが、私は少し静かな場所が好きなので、キャンパスのベンチや小さな休憩スペースを選びます。

最初は一人でのんびりするのがさびしいと感じることもありましたが、今はその時間を大切に思っています。一人でいると、自分の考えをゆっくり整理することができます。まわりの声がない分、自分の心の声がよく聞こえるようになります。

■ 友達と過ごす時間

私には、大学でできた大切な友達が何人かいます。同じ学部ではない人もいますが、サークル活動や授業の合間に少し話したことがきっかけで仲良くなりました。地方の大学だからか、みんな落ち着いていて、話しかけやすい人が多いです。

友達とは、学内の図書館で一緒に勉強したり、お昼ごはんを食べたりします。学食が混んでいるときは、キャンパスのベンチに座って、お弁当を広げて食べることもあります。天気がいい日は、外で話すのがとても気持ちよく感じます。

私が入っているサークルは、地域の子どもたちと遊ぶボランティアのグループです。活動は月に数回ですが、準備や話し合いを通して、メンバーとの繋がりが深まりました。

年齢や学年が違ってても、同じ目的があると自然と仲良くなれるのだと感じます。とくに何か特別なことをしなくても、一緒に笑える時間は大事だと思います。

教室で目が合って軽く手を振ったり、テスト前にお互い励ましたりする、そういった小さなやりとりが心をあたたくしてくれます。

都会の大学のようにイベントや人が多いわけではありませんが、この静かな環境だからこそ、一人ひとりとの関係が深くなるように思います。

■ カフェでのアルバイト

私は週に3回、小さなカフェでアルバイトをしています。大学から歩いて10分ほどの場所にある、地元の人がよく来る落ち着いたお店です。アルバイトを始めたのは、生活費のためでもあります。社会の中で働く経験をしたかったからです。

カフェでは、飲み物を作ったり、レジをしたり、お皿を片付けたりします。最初は覚えることが多くて、失敗もたくさんありました。でも、店長や先輩がとても優しく教えてくれたので、少しずつ仕事に慣れることができました。

お客さんとのやりとりも、良い勉強になります。「ありがとう」や「ごちそうさま」の一言をもらうだけで、心があたたくなります。ときどき、同じお客さんがまた来てくれて、「前よりも上手になったね」と声をかけてくれることもあり、それが大きな励みになります。

かね じぶん かせ お金を自分で稼ぐようになってから、物の値段や時間の大切さを前よりも意識するようになりました。アルバイトの給料で、参考書を買ったり、少しでも贅沢なおかしを買ったりすると、「がんばったご褒美だ」と思えてうれしいです。

いそが ひ じぶん はたら だれ やく た かん 忙しい日もありますが、「自分の働きが誰かの役に立っている」と感じられます。大学の勉強とはまた違う意味で、私を成長させてくれます。社会の一員としての責任とやりがいを、少しずつ実感しています。

■夜の時間

じゅぎょう お かい ゆうがた ろくじ しちじ ごろ アルバイトや授業が終わってアパートに帰るのは、だいたい夕方6時～7時頃です。冬はすでに外が暗くなっているので、少しさびしく感じることもあります。でも、家に帰って部屋の明かりをつけると、ほっとした気持ちになります。

ゆう かんたん つく おお みそしる やさい いた 夕ごはんは、簡単に作ることが多いです。ごはんとお味噌汁、野菜炒めなど、時間があるときは作り置きのおかずも用意しています。一人で食べるのは少しさみしいですが、自分の好きなメニューを選べるのは一人暮らしの良さだと思います。

しょくご じかん べんぎょう じかん わ す 食後は、ゆっくりする時間と勉強する時間を分けて過ごしています。テレビや動画を見ることもありますが、毎日1時間だけは必ず勉強の時間をとるようにしています。

いま にほんご きょういく かん ほん よ えいご たんご おぼ しょ 今は日本語教育に関する本を読んだり、英語の単語を覚えたりしています。将来は、言葉に関わる仕事がしたいと思っているので、少しずつ知識を増やしたいと思っています。

まいにち がんば むづか ちい もくひょう た すこ すす 毎日頑張るのは難しいですが、小さな目標を立てて、少しずつ進めるようにしています。「今日はこれができた」と思えるだけでも、自信になります。

ね まえ ひ みじか か 寝る前には、その日にあったことをノートに短く書くようにしています。うれしかったこと、できなかったこと、反省したことなど、なんでも書きます。文字にすることで、自分の気持ちが落ち着くを感じます。

よる ひとり じかん じぶん むきあ すこ まえ すす 夜は一人だけの時間です。だからこそ、自分と向き合い、少しでも前に進むための時間にしたいと思っています。

■ 都会への憧れ

私は地方にある大学に通っていますが、ときどき都会の大学生活に憧れることがあります。

SNSを見ると、東京や大阪の大学生が、きれいなカフェに行ったり、有名なイベントに参加したりしているのをよく見かけます。おしゃれな服や、おいしいようなランチの写真を見ると、「楽しそうだな」と思うこともあります。

都会には、たくさんの店や情報があって、いろいろな経験ができる場所だと思います。アルバイトの選択肢も多く、イベントやセミナーにもすぐに行けるという点は、とてもうらやましいです。

でも最近、私は「自分のいる場所も、そんなに悪くない」と思うようになりました。自然が多く、人も少なくて静かです。友達とはゆっくり話ができて、近くの川や山を散歩するだけでも気分が変わります。

便利さは少ないかもしれませんが、そのぶん時間の流れがゆるやかで、心にも余裕が持てます。都会のようににぎやかではありませんが、この町にも好きな場所があります。大学の近くにある図書館、駅前のパン屋さん、そしてアパートの近くの小さな公園。どれも特別な場所ではないけれど、私の毎日を支えてくれる大切な場所です。

今は、「どこで暮らすか」よりも、「どう暮らすか」が大事だと感じています。どこにいても、自分のペースで生活を作っていける。それが、一人暮らしをして学んだことのひとつです。

■ 平凡だけど充実した毎日

私の一日は、特別なことがあるわけではありません。朝起きて、ごはんを食べて、大学に行って、アルバイトをして、夜は少し勉強をして寝る。そんな毎日のくり返しです。

でも、その中には、小さな発見や気づきがたくさんあります。

大学では、知らなかった考え方に会います。サークルや友達との会話では、自分とは違う感じ方を知ることができます。アルバイトでは、社会のマナーや責任について学びました。一つひとつが私の成長につながっていると思います。

ひとりぐらしをしていると、困ったときにすぐ誰かに頼ることができません。だからこそ、買い物のしかた、体調が悪いときの過ごし方、時間の使い方など、自分で考えて動くことが増えました。

最初は失敗ばかりでしたが、今では少しずつ、自分で選んで決める力がついてきたと感じます。

また、一人だからこそ、人の優しさに気づく場面も増えました。アルバイト先で、お客さんに「寒いから、体に気をつけてね」と言われたときや、忙しい時に先輩が「大丈夫？」と声をかけてくれたとき、その優しさが心に残ります。普段は気にしないような一言でも、一人暮らしを始めてから、その言葉がとても温かく感じられます。

前よりも、「ありがとう」と思う気持ちが自然にわくようになりました。小さなことでも、人に助けられていると実感することが多くなりました。そして何よりも大きな学びは、「特別じゃない日にも意味がある」ということです。

静かな朝の空気、友達と笑った時間、夕ごはんを作る音、自分の心と向き合う夜のひととき。どれもかけがえのない時間です。

私はこれからも、この町での生活を大切にしながら、自分のペースで前に進んでいきたいと思っています。

「私の1日（大学生）」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

